

平成31年1月17日

村山・置賜地区災害情報普及協議会

地域オリジナルのハザードマップが完成!

～水防災対応の避難行動を踏まえた集大成を披露～

近年の豪雨災害を踏まえ想定し得る最大規模の降雨に伴う、浸水想定区域に対応した自治会単位による検討会の最後として町内に案内表示板の設置。

検討の集大成であるまるまちマップのお披露目を行います。

1. 開催日時 平成31年1月19日(土) 13:00～14:30
2. 開催場所 長井市館町自治公民館(約40名出席予定)
3. 実施内容
 - ・表示看板(浸水深と避難誘導)の設置
 - ・まるまちマップのお披露目
4. 取 材 会場での受付後、撮影は随時可能とします。

※まるごとまちごとハザードマップとは

自分たちの街に洪水にかかわる情報を標示して、いざという時に避難行動を円滑にし、被害を最小限にとどめよう! という取り組みです。

➤ 村山・置賜地区災害情報普及協議会

災害に関する情報の普及を支援するため、関係機関同士が効率的かつ一体的に情報共有し、災害時の連携を強化する組織です。

〈発表記者會〉 山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部

問い合わせ先

(村山・置賜地区災害情報普及協議会事務局)



国土交通省

東北地方整備局 山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目3番55号
TEL 023-688-8933(直通)
調査第一課長 栗田 政芳(内351)

長井市 総務課
長井市ままの上5番1号
TEL 0238-84-2111(代表)
長井市 総務課長 小関 浩幸

長井市館町南・北地区の「まるごとまちごとハザードマップ」

- ①住民、自分たちの手で「自分達の洪水ハザードマップ」を作るとともに浸水エリア、浸水の高さ、避難所までのルートを把握。
- ②地図に書き込み、実際歩いて見て「どのタイミング」で「誰と一緒に」どの「ルート」でどこに「避難」するか予め考え、備えてしておくものです。

今までの取組み：



主旨説明会(8/3)

- まるまちとは何か
- まるまちの進め方



自治会説明会(8/24)

- 地区会への概要説明
- これからのまるまち予定
- 次回検討会に向けての事前確認



第1回検討会(10/12)

- 危険箇所、防災活動に役立つ施設の確認
- 避難する際の指標となるもの
- 手助けが必要な方等の洗い出し
- 避難ルートを机上で想定 等



第2回検討会(11/11)

- 実際に街中を歩いて見て避難ルートを含めて再確認する



第3回検討会(11/25)

- 看板設置箇所の確認。避難指標の確認



※設置イメージです

今回

- 自分達で街中に避難所・避難経路・浸水深などのわかる看板を設置し、防災意識高揚を図る